

講義名	倫理学(2年生以上)			授業形態	
担当教員	越後 圭一	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	LBA107
主題と概要					
倫理学とは、私たちが善く生きるために何をすべきか、何をすべきでないか（＝規範）を考えていく学問です。この講座では、倫理学があつかう基本的な諸問題について、具体例を用いて学んでいきます。					
到達目標					
・知への興味や関心を引き出し、物事を深く考えるための知的基礎形成を促す教養をつけること。 ・私たちが生きていくうえで守るべき規範や善悪について原理的に思考する態度を身につけること。					
提出課題					
提出は2回 ・中間レポート：授業の感想や疑問点など（感想文） ・学期末レポート：講義中で扱った思想や概念について、5つの設問に解答する形式で論述（どのような問を出題するかはそのつど授業で教えます） 提出方法： 各自Word等文書作成ソフトでファイルを作成し、キャンバスクロスより送信					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
中間レポートに関しては授業内でフィードバックを行います。					
評価の基準					
中間レポート（30%）、期末レポート試験（70%） 両方の提出がない場合は「不可」とする。 授業に参加し、内容をよく理解できていることを前提とし、授業の理解が反映されたレポートでなければ合格点を獲得するのは難しいとってください。インターネット上の文章やAIから得た知識を丸写ししたレポートでは、本講義における合格点は取れませんので注意するように。最低限の文字数などの条件を満たさないレポートも失格とみなします。 授業はすべて講義形式で行います。キャンバスクロスより毎回配布する資料（pdfファイル）を授業時間までにダウンロードし持参してください（プリントアウトor ノートPCからの閲覧等）。 授業資料は必ず毎回ダウンロードし保管してください。課題作成時に必要になります					
履修にあたっての注意・助言他					
この授業では、倫理学の難しい専門用語などを極力用いずに日常の具体例に即して説明し、倫理学の基本的な諸問題について考えていきますので、気軽に受講していただければと思います。ただし授業へ参加せずに課題を提出するのみでは単位を取得することは不可能であると心得てください。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.なし。					

その他		
授業資料を毎回配布します。参考文献は授業内で紹介する予定です。		
授業計画		
第 1 回 ガイダンス 倫理学とは 予習： 配布資料を読み、倫理学の定義や範囲について調べる（90分） 復習： 授業内容の要点を整理し、「当事者意識を持って倫理学を学ぶ」ことはどういうことかを考える（150分） 第 2 回 倫理学の分類 予習： 配布資料を読み、「規範倫理学」と「応用倫理学」の意味を調べる（90分） 復習： 授業内容の要点を整理し、各倫理学分野の特徴を図表で整理する（150分） 第 3 回 功利主義と義務論 予習： ベンサム、ミル（功利主義）およびカント（義務論）の基本思想を調べておく（90分） 復習： 授業内容を振り返り、功利主義と義務論それぞれが問題となる具体的な状況が自分の身の回りにないかどうか、当事者意識を持って考えてみる（150分） 第 4 回 善い人間 予習： 「性善説」の意味とこれをめぐる問題について調べ、自身の見解について考えておく（120分） 復習： 授業で紹介されたエピソードを題材に、善悪の行為について当事者の立場から考えてみる（120分） 第 5 回 善とは何か 予習： 前回の内容をふまえたうえで、善悪について哲学的な議論が展開された例（宗教や文学作品含む）を調べてみる（120分） 復習： 善悪の価値判断の前提となる価値の「善観主義」と「主観主義」について整理・比較をし、双方の利点・欠点について具体的にどういった問題が起こりえるか考えてみる（120分） 第 6 回 正義とは？ 予習： 配布資料を読み、「是正的正義」「分配的正義」について調べておく（90分） 復習： 授業内容を振り返り、「公平な分け方」について、身の回りの出来事に当てはめて具体的に考えてみる（150分） 第 7 回 多数のために少数を犠牲にすべきか 予習： 配布資料を読み、「多数決」で物事を決める場合の長所と短所について考えておく（90分） 復習： 授業内容を振り返り、民主主義と功利主義についてその特徴を理解する（150分） 第 8 回 脳死と臓器移植 予習： 日本や海外における脳死と臓器移植の倫理的・法的状況を調査する（120分） 復習： 授業内の議論を参考に、功利主義的倫理観が臓器移植に与える影響について考えてみる（120分） 第 9 回 倫理と宗教 予習： 主要宗教（キリスト教、イスラム教、仏教など）における倫理観を調べる（90分） 復習： 自身の経験上知っている具体的な道徳や規範が、宗教的根拠に基づくものか、合理的根拠を持つものか考えてみる（150分） 第10回 自己所有権と自由 予習： 配布資料を読み、自己の身体はどこまで自由に扱うことができるか、具体的に考えておく（90分） 復習： ミルの他者危害原則とロックの自己処分権の議論を踏まえて、自己の身体（生命）の自由についてどこまで許されると考えられるか、自身の考えを深める（150分） 第11回 ヒューマニズムとは 予習： 「人間主義」と「人間中心主義」の違いについて調べておく（120分） 復習： 配布資料を読み返し、「人間主義」と「人間中心主義」の違いについて、要点をまとめて理解する（120分） 第12回 人間の権利 予習： 人間には「人権」があると言われるが、なぜ人間だけが特別と言えるのか考える（120分） 復習： 人間と他の存在者とのあいだの「線引き問題」について、配布資料を読み返し熟考する（120分） 第13回 環境倫理学 予習： 配布資料を読み、環境倫理学と環境倫理思想について調べておく（120分） 復習： 行き過ぎた環境保護運動がなぜ生じるのか、授業で学んだ価値観に基づいて考えてみる（120分） 第14回 持続可能な社会と倫理 予習： 地球温暖化とは何か、その引き起こす諸問題と倫理的課題について調べておく（150分） 復習： 持続可能な自然との関わり方、社会のあるべき姿を、自分なりにイメージしてみる（90分） 第15回 社会と倫理		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力として、本講義は、他者との社会活動における倫理性についての知見を深めることを助け、（5）仲間と協同して、物事を成し遂げることができ る人材の育成に貢献します。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		
授業の進み具合等に応じて内容を変更する場合があります。		